

【史料1】『公務手鑑并私用出方 二』 田原貞一

「」は「ヨリ」、「江」は「え」、「者」は「は」とした

天保六年

1/1 一元旦

御上御留主ニ而御座候間御帳出方仕候而年礼荒々相仕舞引取申候事

一同月六日 年礼ニ罷出今日不残相仕舞申候事

一同月十五日 出殿、例之通松囃子相見仕候而引取、岩瀬二参仲繁方・見泰方・長崎屋・紙屋五平・其外段々参候、今夕ハ博多え一宿致候事

一正月十六日 御祝儀出方、御帳付恐悦申上引取申候事

1/26 一同月廿六日ヨリ韶翁様依御召秋月表之罷越候、今日及暮秋月え着致候事

一同廿七日 出殿、甲斐守様御機嫌奉伺候而御下屋敷え罷出、韶翁様御目見被仰付候而引取申候、同日御家老・御中老・御納戸頭廻勤旅宿え引取候処、以書状今日七ツ時韶翁様・御姫様伺被仰付候条出殿仕候様申来、七ツ時出方仕、御二方様共奉伺候、同夕頂戴被仰付候、九ツ半過旅宿え引取申候事

一廿八日 里獵御免被仰付候、朝六ツ時ヨリ出浮候而夜五ツ時頃旅宿え引取、夫ヨリ獵為祝儀酒肴拵候而秋月御納戸頭宛相招候事

一正月廿九日 出方御会席頂戴被仰付候、朔日ニは宿元え引取度段願出候処右之通被仰付候

一白羽二重一反、寿苦一箱、川茸一桶、きせる、たばこ入、雁

鴨四羽

右 韶翁様ヨリ拝領

一御包ノ内 糸箱、はし差二ツ、三徳、ふくさ

右 栄姫様ヨリ拝領

一御包ノ内 両袖、半切、手紙袋、御酒桶五本入

右 御部屋様ヨリ被下

一二月朔日 四ツ時秋月出立、甘木ニ而昼相仕舞、暮六ツ時過宰府え参候、今夕日田屋え一宿致候而二日ニ引取申候、二日ニは村中ヨリ宇美迄出迎ニ参候、宿元ニ而酒取肴出候而相祝申候、一族中ハ表屋敷ニ而酒出候事

一二月十五日 出殿、今日秋月同道之連中申合大浜於釣伍亭ニ打寄申候、同夕浜口え泊り申候事

一同十六日 浜口え釣伍亭主人其外見泰・道慶参申候ニ而一盃出候処、妙見迄いづれも腰送りニ被参候ニ而妙見ニ而酒宴ニ相成七ツ過帰宅

2/23 一同廿三日 香椎宮え遠乗御座候ニ而六ツ半時新右衛門殿宅え参候様、源左衛門殿被仰付候由ニ而頭衆ヨリ書状至来仕候ニ而同日出方致候、勿論早朝宿元ヨリ乗出上ノ橋え参香椎往来仕同日宿元へ引取申候、暮六時帰宅致候事

一三月朔日 出殿、養巴老方え養明改名之名開ニ而養明えも参申候、同夕五ツ過帰宅

一同三日 出殿、今日一手中申合、中ノ島ニ打寄申候、夫ヨリ

一手中同道大浜釣伍亭之參候、夜四ツ時過濱口之帰申候、同夕浜口之泊り申候事

一三月六日 左ノ通頭衆ヨリ申来ル

貴老持馬之儀ニ付急ニ指向申談候儀御座候間、両三日中可被罷出候、此段申入候 以上

三月五日

3/7 一同七日 出方仕候処、専太夫殿ヨリ只今乗馬所持致候得共差

出致不申候故飼料も御渡ニ相成不申、右ニ付差出等致候而飼料等も御渡ニ可相成候ニ付如何共申出候哉相調子候様、御月番ヨリ頭衆迄被申渡候由噂御座候、然処先年ヨリ只今之通ニ而差出も仕不申勿論飼料不被付候共、御用之節ハいつとても馬差上可申候旨頭衆之申出候処、早速御月番正太夫殿之被申出候処右之通聞置ニ相成申候、飼料相願候得ハ手数も段々入候由ニ付飼料不申請候処に申出候事

3/13 一三月十三日 左ノ通頭衆ヨリ申来候

養卜倅 御療治方 田原養柏

当秋養卜為交代、江戸表之被差越候事

右御月番ヨリ頭衆迄相達候様被仰付候由

一三月十五 出殿、口々引合、頭衆之御禮申上候、頭取衆之当秋江戸表之被差越候趣ヲも申上候、大奥頭分ニも同様申上候事

3/18 一三月十八日 市右衛門殿初御用勤、御納戸頭・御用聞・諸役

人衆・中老・御家門、凡五拾騎余、此方迄御遠乗御座候、右

二付私ニも御城門迄為御迎乗出申候、同日療用ハ相断申候事

4/1 一四月初日 出殿、引取一手内二三輩同道ニ而中之島能芝居見物ニ參申候事

一同七日 御番医連中ヨリ妙見ニ而見立御座候ニ付昼頃ヨリ出浮申候、同夕泊り申候事

4/8 一四月八日 一手中ヨリ見立ニ付滞留、能芝居見物、暮方ヨリ

川畑伊勢屋ニ而打寄申候、同夕泊り候而九日早朝ニ致帰宅候事

一同十五日 出方、今日至而無事

4/18 一同十八日 殿様箱崎之御泊座、此度御家督ニ相成初の御下国

故一手中箱崎御茶屋ニ而御目見被仰付候、十徳着用

一同十九日 六ツ時御供揃ニ而四ツ時御帰城ニ相成、御目通ニ罷出表御帳付頭取之恐悦申上、江戸着之一手内二地所之一手中申合祝儀ニ參候事

4/20 一四月廿日 今日伺被仰付候、御本丸御社參五ツ半過御供揃ニ

而御出ニ相成り申候、伺ハ御社參前被仰付候、江戸行事御匙衆之申談引取申候

一同廿五日 七ツ半時御供揃ニ而長崎之御発駕の由ニ付廿四日昼過ヨリ浜口迄參候処、聞次ヨリ延候之由申来候ニ付引取申候事

4/27 一四月廿七日 弥御発駕被為遊候ニ付廿六日暮前ヨリ浜口迄參

廿七日御発駕前伺被仰付候

一五月朔日 出方仕候、今日一手中手許之參申候、毛利・釣倍

町人同道ニ而被參候事

一 同節句 出殿仕候、長崎御留主ニ付御帳付御城内一族當ニ祝儀ニ參申候事

5/9 一 同月九日 長崎ヨリ御帰城ニ相成申候ニ付出方仕候、今日鷹

取家ニ而見立振舞御座候事

一 五月十二日 八ツ時過左ノ通申來候事

明十三日御馬拝見被仰付候ニ付九ツ時迄ニ掛御出方可有之候、尤限たる病用有之候得は御出方ニ及不申候得共少々之儀ハ指替候而御出方可被成候、九ツ時は御馬場之筈ニ御座候条、其御心得ニ而御出方可被成候 以上

頭取當番ヨリ

5/13 一 五月十三日 出方御馬拝見仕候、今日御家老衆・御用勤・御

納戸頭迄、御居間ニ而頂戴御座候、右ニ付給仕役被仰付候、

夜五ツ過引取申候、今日蛭献上仕候、大奥ニ而内分ニ而縞金

巾一反御菓子頂戴被仰付候、頭取當番之御礼申候事

5/15 一 同月十五日 出殿奉伺候、今日木山方見立振舞御座候事

一 同廿一日 左之通頭取當番ヨリ申來

貴老事御用之儀御座候ニ付、廿一日廿三日間御出方可有之候 以上

5/23 一 右ニ付廿三日出殿奉伺候、御眼氣少々御不同、御血筋御座候

ニ付洗印御薬御用被為遊候様申上候、御乗馬ニ而八ツ時ヨリ

又々被下之馬乗出申候、暮方ヨリ御居間ニ而御膳頂戴、其上

団扇六本、家内之拝領被仰付候、夜九ツ過引取申候、今夕一

宿致候事

一 五月晦日 御家督被為濟候ニ付御目見之被仰付候、出方致候事

6/1 一 六月朔日 出殿奉伺候事

一 同三日 今津御漁御供被仰付候、往來御馬上私ニも馬上御供仕候、今夕御意ニ而御殿之泊り四日四ツ時迄相詰申候、御菓子一包拝領仕候事

6/4 一 同四日 夕頭取衆ヨリ左之通申來

大奥女中ニ眼病人御座候条明五日出方可有之候、此段御懸合申置候様被仰付候 以上

ツキ

一 五日 出殿奉伺候、今日左之通拝領仕候、

団扇三、巾着一、盃一、御菓子一包

一 六月六日 外記殿ヨリ御案内御座候条同家之罷出候事

一 同九日 山笠御覽被為遊候ニ付御供被仰付候、御覽後箱崎迄

御遠乗、箱崎ヨリ御引取石堂口迄御供夫ヨリ引取申候事

6/14 一 六月十四日 出殿、左之通願差出候事

私儀、江戸為詰方罷越候ニ付、一族津田式右衛門弟甚十郎差添遣度旨ニ付召連申度候、此段御聞置被成可被為下候

以上

六月十四日

私儀、此節江戸為詰方被差越候ニ付、御借船御渡被成候儀ニ御座候、右船代拝受仕自分中国罷越度候、尤天氣模様次

第二而候、船頭罷越候儀も可有御座候、此段宜御執成奉願候

六月十四日

私儀、此節江戸詰方為交代被差越候二付、一族木山三郎助
倅源助差添遣度旨二付召連申度候、此段宜御執成奉願候

六月十四日

615 一六月十五日 出方奉伺候、今日ゆかた拝領仕候、右御礼頭取

当番え申上候、十四日十五日暇迄之廻務仕候事、

一同廿二日 仕舞申出候処、御酒御吸物頂戴被仰付候事

623 一同廿二日 御謁被仰付候、口々ヨリ差立の書状請取、前日御

機嫌伺も御免、今日御機嫌相伺候事

一同廿三日 御帷子拝領仕候

未ノ閏七月廿五日ヨリ 江戸詰方中

一閏七月廿五日 出方奉伺候、雲雀拝領之御祝儀出方も今日相
仕舞申候、御構二も

(以下省略)

【史料2】『綱領』二一 天保4年1月〜同6年12月

「黒田家文書」一〇九号 福岡県立図書館所蔵

天保五年一月六日

一福岡追廻に騎射馬場取建、立花勘右衛門・斉藤蔵人・三
好甚左衛門・嶋平右衛門引立受持被仰付

天保六年正月一三日

一公(長博) 家督後初て国元へ暇被仰出、刀馬拝領

【史料3】『筑前国續風土記附録』(中巻) 文献出版、一九九七

上須恵村

○此村に田原養卜と言眼科医師居れり。青目の治療特に妙
術を得たり。(以下省略)

内橋村

○此村に中村又七と云眼科あり。其醫傳ハ高場順世より出
たり。順世はもと寺澤志摩守領内天草にありて高場進士兵
衛といへり。志摩守落去の後、牢浪となり當國に來り彼方
此方さまよいけるか、よすかありてついに此村に來りぬ。
もとより眼科を嗜ミければ醫となり名を順世とあらたむ。
治療を能し世に行ハる。此時より田原養卜・高場正節・中
村宗宅など皆渠か門下となりて傳を得たり。順世ハ貞享三
年十一月に死す。子孫なし。